

愛する人を生んでくれたあなたへ

緒方麻里子
熊本県・一八・学生

お元気ですか。風邪などひいておられませんか。あなたと最後にお会いしてから、八ヶ月経ったでしょうか。今でも、私はあなたのことを思い出します。初めてあなたに会った日のこと、一緒にテレビを見た日のこと、あなたの作った手巻き寿司をおなかいっぱい食べた日のこと。あなたの私に向けてくれた笑顔が私の支えになりました。私は、もっと私のことを知ってほしいと、そしてあなたの力に少しでもなりたいと考えていました。

佳作

月日は流れ、あなたの記憶の中に私はいないのかもしれない。明るいあなただから、私という存在は遠い過去なのかもしれない。どこかでまた、再び会えることを信じ、私は私の道を歩いています。なぜ、ここまであなたのことを想うのでしょうか。恋人でもないあなたに会いたいと願うのでしょうか。私自身に問いかけても、答えは出ませんでした。ただ、私は届けたいのです。私が今、最も愛する人を生んでくれたあなたへこの手紙を。先日、知人が亡くなりました。人の命は、とてもはかないものなのです。このまま

では、あなたの中に私は残らぬまま二度と会えないかもしれません。こんなにもあなたのことを大切に想っているのに。もし、あなたとまた笑い合える日が来たならば、一緒に温泉でも行きましょう。私がどこへでも連れて行きますよ。一緒に買い物も行きたいですね。その時は、あなたから頂いたネックレスを身につけて行きますよ。また、大声で笑いながらテレビも見たいですね。今度は私がコーヒーいれますね。一つ余っているイスを作って、食卓を囲みましょうよ。そんな日々に戻ったら、私は世界一の幸せ者ですね。

私はいつの日か、あなたの本当の娘になりたい、今でも私は思っています。そのことをずっと願っています。どうか、お体にお気をつけて。

これは、恋人でも愛する人でもないあなたへ捧げる手紙です。

*七ヶ月前に別れた元恋人のお母さんへあてた手紙です。将来は一緒に住みたいと考えていました。もう、この思いは届けられないのです。